

相模原市公共交通整備促進協議会は相模原市、市議会、自治会連合会、市内各種団体により構成され、昭和44年の設立以来、相模原市域の鉄道、バス交通等、公共交通の整備促進などを目的に鉄道、バス及びタクシー事業者への要望活動や、公共交通の利用促進に向けた啓発活動等を行っています。

## 大野北地区コミュニティバスの愛称決定 【ピンくる号】

令和5年1月から2月に大野北地区コミュニティバスの愛称募集を行い、156件の応募がありました。令和5年3月に利用促進協議会による厳正な審査の上「ピンくる号」に決定しました。



## コミュニティバスで クリスマスプレゼント企画の実施

「せせらぎ号」、「ピンくる号」において、クリスマス期間中(12/23～25※ピンくる号は平日運行のみ)に車内でシールとぬりえのプレゼント企画を実施しました。

せせらぎ号では87名、ピンくる号では56名の方にお持ち帰りいただきました。また車内ではクリスマスの飾りつけを行い、利用者の皆様にクリスマス気分を楽しんでいただきました。



## おおのきた子どもまつりへのコミュニティバス出展

『おおのきた子どもまつり2023(12/17開催)』で「ピンくる号」を展示しました。

コミュニティバスの体験試乗やペーパークラフト製作ブースは順番待ちの列ができるほどの大盛況で、とても好評でした。多くの方にコミュニティバスに親しんでいただく機会となりました。

## 田名バスターミナル 供用開始10周年

中央区田名地区の田名バスターミナルは平成26年4月に供用を開始して10年が経過します。現在は市内の主要なバスターミナルの一つとして橋本駅、相模原駅方面行きなど9系統の路線バスが乗り入れており、毎日2,000人以上の方にご利用いただいています。



## グリーンスローモビリティ 運行支援事業

近年の高齢化や地域特有の地理条件などから、買い物や通院などの身近な移動に困難さを抱える地域の課題解決に向け、緑区若葉台地区及び南区新磯地区において、地域主体でのグリーンスローモビリティの実証運行を実施しています。



## JR横浜線相模原駅にホームドアが 設置されました!

令和5年9月、JR横浜線の相模原駅にホームドアが設置されました。

ホームドアは、ホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を未然に防止し、利用者の安全・安定輸送の確保を図っています。



## バスの小児に運賃が一律50円に なりました!

神奈川中央交通株式会社、神奈川中央交通東株式会社、神奈川中央交通西株式会社は、令和5年4月から、路線バスの小児運賃をICカードご利用の場合に限り、全区間を1乗車一律50円としました。



## 要望活動を実施しました!

相模原市公共交通整備促進協議会では、公共交通の利便性の向上に向けて、令和6年3月に各交通事業者へ要望活動を行いました!

### 《要望先》

- ・東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社 ・東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 ・小田急電鉄株式会社
- ・京王電鉄株式会社 ・神奈川中央交通株式会社 ・県タクシー協会相模支部相模原地区会

## これまでの要望活動の主な成果

### 精神障がい者割引の導入

京王電鉄株式会社は、令和5年10月より、障がいがある方の社会活動への参加を支援する取組みとして、精神障がい者割引を新たに導入しました。

#### 【対象・割引率】

対象は、「精神障害者保健福祉手帳（1級）」をお持ちの方が介護者の方とともに乗車する場合に、それぞれ5割引（※）となります。

※詳細については、京王電鉄株式会社HPをご確認ください。

### 成田空港行き的高速バス運行再開

神奈川中央交通東株式会社は、令和2年4月より全便運休していた高速バス「橋本・相模大野・町田・南町田～成田空港線」について、時刻改正および運賃改定を実施のうえ、令和5年12月より運行を再開しました。



### 相模原市が目指す将来の交通のすがた

相模原市では、令和4年3月に「相模原市総合都市交通計画」を策定し、鉄道や路線バスなどの公共交通中心の持続可能な交通体系の確立を目指しています。



### 都市交通の充実のために寄附であなたも市政に参加してみませんか!

相模原市では、都市交通施設の整備にかかる費用の一部にするため、都市交通施設整備基金への積立を行っており、市民の皆様や企業などからの寄附を受け付けています。詳しくは事務局までお問い合わせください。



## 相模線複線化等促進期成同盟会 公式SNS

相模線の沿線情報や同盟会の取組などを発信しています!

公式ホームページもチェック♪

GOGO相模線



公式 X



公式 HP